5年後の私をハッピーに。

チアーズスタイル
Cheers Style

《情報格差をなくす健康マガジン》

http://8p-cheers.com/

№13
May/2019

Index

01 チアーズプラス　伊藤さおり院長
02 カフェで学ぼうがんのこと
「胃がん～注目される最新医療～」
特集「梅雨時期の体調管理を考える」
03 チアスタキーワード
「食中毒を防ぐ3つのポイント」
04 インフォメーション
健康チェック測定会スタート

LINE@ × Cheers Style

友だち登録でお得な情報をゲット!

QRコードを読み取って友だち追加すると、チアーズスタイルからのお知らせやお得な情報を受け取ることができます。ぜひ友だち登録してくださいね!

@wzj5197j

新元号「令和」が始まりました。出典元の万葉集の一節の舞台が大宰府であることに喜びも一入でした。"令和の聖地"に行ってみようと思います。素晴らしい時代になりますように。

上田　あい子

仕事に人生に前向きに
チャレンジする
女性にフォーカス

Cheers PLUS
チアーズプラス

患者としての経験を生かした医療を提供したい

幼いころから肌が弱く、学生時代には日光アレルギーでご苦労された医療法人 ホームケア よつばの杜クリニック 伊藤さおり院長を編集長上田がインタビュー。

vol.13　医療法人 ホームケア よつばの杜クリニック　**伊藤 さおり**院長

―皮膚科医を目指したきっかけは?

父が自宅で内科のクリニックをやっていたのですが、内科に限らず色々な患者さんが来られ24時間土日も関係なく診療していました。父からは、「医者は男女関係なく仕事ができ、やりがいのある仕事だよ」とよく聞かされ、実際に父が患者さんを元気する姿を毎日見ていたので、自然と自分も医師になるのだと思い目指すようになっていました。今思えばあれは洗脳だったのかもしれませんが（笑）。

医者の中でも皮膚科医を目指すようになったきっかけは、私自身小さい頃からアトピーで皮膚が弱く、いつも皮膚科に通院していました。中学生の頃には、屋外でのバレーボール大会後、入院するほど全身が腫れあがり日光アレルギーとの診断。あまり日光に当たらない方がよいと言われ、それから高校卒業まで、屋外の体育の授業は見学でした。今はそこまで過敏ではありませんが、長時間外にいることは避け、海などには行かないようにしています。

そんな学生時代の入院生活や長い通院経験から、私と同じように皮膚の弱い方のためになりたいと思い、皮膚科を志すようになりました。

―仕事上の喜び、やりがいは?

皮膚科の治療を根気よく続けたことで辛い症状が軽減し、日常生活が送りやすくなったと患者さんに笑顔で言ってもらうことが皮膚科医としての喜びであり、やりがいです。

―仕事で気を付けていることはありますか?

皮膚科には、人に見せたくない部分の症状やコンプレックスにつながるような悩みをお持ちの方も来院されますので、医師や看護師の対応には気を付けています。

また、皮膚トラブルの治療は、改善までに時間がかかることが多く、医師と患者さんの信頼関係が大事です。患者さんのライフスタイルに合わせたアドバイスとコミュニケーションを大切にしています。

皮膚トラブルに悩む方に寄り添う医療を目指しています

―趣味やリラックス方法などはありますか?

もともと音楽が好きで、主人が音楽関係の仕事をしていることもあり、ピアノとドラムの演奏をして気分転換をしています。日本舞踊、ヒップホップ、クラシックバレエなどダンスや踊りも好きで、これまで色々な習い事をやってきましたが一番長く続いているのがピアノとドラムです。仕事以外の趣味を楽しむようにしています。落ち着いたら、習っていたお茶など「和」の習い事を再開したいと思っています。

「医療・美・運動・食」の4つのテーマで「健康と美」を提供する〝メディカルガーデン千早"

―フットケア外来とは?

当院ではアトピー、アレルギーその他皮膚トラブルの治療をする一般皮膚科の他に、自由診療の美容皮膚科や美容に関するお悩みも受け付けています。また、魚の目、タコ、巻き爪等の足病変を総合的に診療するフットケア外来も行っています。

―巻き爪も皮膚科で診察できるのですね

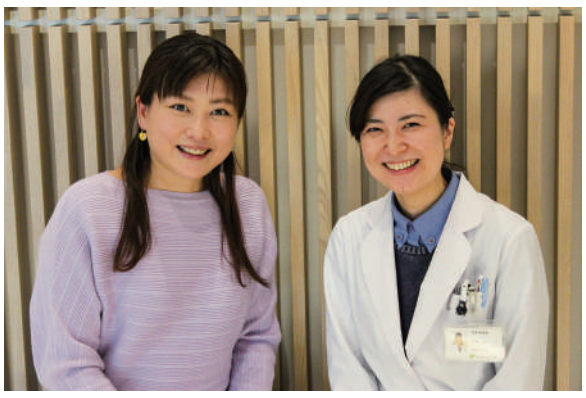
ヒールを履く女性に多い巻き爪は、放置しておくと湾曲した爪が皮膚に食い込んで痛みや炎症を起こした状態、陥入爪（かんにゅうそ）となり、歩行できない程の痛みを伴うこともありますので、悪化する前にご相談ください。

足病変を総合的に診療するフットケア外来
田中 摩弥先生

―女性に向けてのメッセージ

お肌には心と体の状態が現れますので、心身ともに健康を保つように心掛けましょう。お肌の調子がいいと気分もよくなり、自信にもつながります。ストレスや睡眠不足などは天敵です。美肌を保つ秘訣は、「正しく洗う・保湿・紫外線対策」につきますよ!

穏やかな口調で相談しやすい雰囲気の伊藤さおり院長。6月に開催する「カフェで学ぼうがんのこと」に講師としてご登壇いただきます。これから紫外線が気になる時期になります。紫外線対策も含めた正しいスキンケア、肌トラブル対策について教えて頂き、心も体もお肌もいつも健やかに過ごせるアドバイスを楽しみにしています。



伊藤さおり先生に教えてもらった正しいスキンケアを実践します!（上田）

医療法人 ホームケア よつばの杜クリニック

●所在地／
〒813-0035
福岡市東区松崎4-40-18
メディカルガーデン千早2F・3F
●TEL／
皮膚科・フットケア外来：092-674-1212
美容皮膚科：092-674-1239
●URL／
http://yotsubanomori.com/

Information

…ウィッグリング フィッティングサロン営業日　…カフェで学ぼうがんのこと 開催日　…健康チェック測定会開催日

お申込みページ専用QRコードはコチラ

2019年 5月 May

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
			1 即位の日 チアーズスタイル13号発行日	2 国民の祝日	3 憲法記念日	4 みどりの日
5 こどもの日	6 国民の祝日	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2019年 6月 June

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24	25	26	27	28	29

2019年 7月 July

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	1 チアーズスタイル14号発行日	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15 海の日	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

5月・6月・7月　ウィッグリング フィッティングサロン営業日〔10:30～16:00(受付15:30まで)〕

ウィッグリングサロンでは、抗がん剤治療で脱毛した女性向けに医療用ウィッグをレンタルしています。治療を終えた患者様からご提供頂いた高品質なウィッグです。治療による経済的負担を軽減すること、心のケアが目的です。脱毛症の方などもご利用いただけます。販売用新中古ウィッグ、部分ウィッグ(1,000円～)、治療中に必要なウィッグ用シャンプー、リンス、脱毛中に使う使い捨てネット等をセットにした「ウィッグリングセット」を販売しています。

5月のサロン営業日			
11(土)	13(月)	20(月)	27(月)

6月のサロン営業日				
3(月)	8(土)	10(月)	17(月)	24(月)

7月のサロン営業日				
1(月)	8(月)	13(土)	22(月)	29(月)

※営業日は毎週月曜日・第二土曜日。営業日が祝日の場合はお休みとなります。　※日程変更の場合がございますので必ずお電話でご確認・ご予約をお願いします。　※必ずお電話かEmailにてご予約をお願いします。

【レンタルの際の注意事項】脱毛が始まっていない方は、試着の際に毛量があると頭囲が変わるので、あらかじめ髪の毛を短くカットしてサロンに来ることをおすすめします。

カフェで学ぼうがんのこと セミナースケジュール

主催:久留米大学先端癌治療研究センター、NPO法人ウィッグリング・ジャパン　協力:財団法人福岡県すこやか健康事業団～公益財団法人大阪コミュニティ財団　木原隆がん基金支援事業～

病気の予防や早期発見、納得のいく治療選択のためには、正しい知識を学ぶことがとても大切です。「カフェで学ぼうがんのこと」では、飲みものとお菓子を楽しみながら、リラックスした雰囲気の中で医療従事者や専門家、参加者同士で健康に関することを学ぶことができます。講師の先生と近い距離で「病気の予防・治療・検査方法、先進医療、アピアランスケア」についての話が聞けるスモールセミナーです。

5/15 wed 11:00～12:30

《第81回 カフェで学ぼうがんのこと》

がん予防の知識

○講師:山田 亮先生(久留米大学先端癌治療研究センター所長 教授)

今、日本人の2人に1人が、一生のうち一度はがんになるというデータがあります。がんは、様々な要因で発症していると考えられており、男性のがんの53.3%、女性のがんの27.8%は、「生活習慣」や「感染」が原因だと考えられています。その中には予防できるものもあり、多くの人が関心を寄せています。研究結果から明らかにされているがんの要因と、家族みんなに役立つ「正しいがん予防の知識」について学びましょう。

日時　2019年5月15日(水)　11:00～12:30(10:45受付開始)

参加費　1,500円(資料、飲み物、お菓子付き)

場所　久留米大学福岡サテライト(福岡市中央区天神1丁目4-2エルガーラオフィス6F)

6/27 thu 15:30～17:00

《第82回 カフェで学ぼうがんのこと》

身体を守るバリア機能! 皮膚の正しいケアを学ぼう

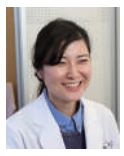
○講師:伊藤 さおり先生(医療法人ホームケア よつばの杜クリニック 院長)

(今号の巻頭インタビューにもご出演頂いた伊藤さおり先生の講座です。)お肌のトラブルは、年齢問わず多岐に渡ります。いまや夏の時期だけではなく、年中必須と言われている保湿と紫外線対策。スキンケアで大切なことは、正しく洗うこと、正しく守ること。皮膚トラブルの正しい対処方法や皮膚がん、年齢に応じた注意点など、美肌を保つためのさおり先生のマル秘テクニックをわかりやすくお話しいただきます。

日時　2019年6月27日(木)　15:30～17:00(15:15受付開始)

参加費　1,500円(資料、飲み物、お菓子付き)

場所　筑邦銀行3階会議室(福岡市中央区高砂1-24-20ちくぎん福岡ビル)



7/23 tue 15:30～17:00

《第83回 カフェで学ぼうがんのこと》

自覚症状が出にくい「大腸がん」

○講師:溝部 智亮先生(久留米大学病院消化器外科 助教)

大腸がんは、進行するまでほとんど自覚症状はありません。
大腸がんの治療方針は、がんの広がりと深さによって大きく異なり、特に深さは大変重要なポイントとなります。内視鏡治療のほか(腹腔鏡下大腸切除術と開腹術といった)外科的治療、より進行した大腸がんに対して開発されている有効な抗がん剤、重粒子線治療、放射線治療など最新の治療についてお話しいただきます。

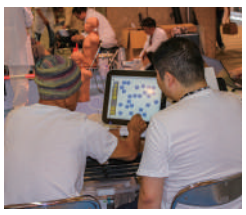
日時　2019年7月23日(火)　15:30～17:00(15:15受付開始)

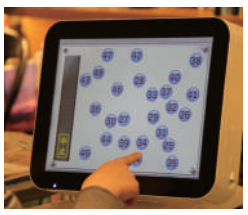
参加費　1,500円(資料、飲み物、お菓子付き)

場所　久留米大学福岡サテライト(福岡市中央区天神1丁目4-2エルガーラオフィス6F)

健康チェック測定会スタート! 完全予約制

筑波大学大学院・矢田教授監修の健康チェック測定会を、毎週火曜日～金曜日に開催します。1回限りの測定や3ヶ月間の定期測定を行ない、矢田教授による解析や解析結果をもとに生活上でのアドバイスを行う個別プログラムをご用意しており、ご希望、ご都合にあった測定をお選びいただけます。ご自身の体の状態を知り、日常生活にお役立ていただき、健康寿命を延ばすきっかけにしていただきたいと思います。ぜひお気軽にお問い合わせください。





⬆2019年1月27日(日)に開催された認知症サポーター養成講座の測定会の様子です。

➡脳年齢・血管年齢計で測定いたします。

これまでたくさんの方々に「健康チェックイベント」にご参加いただきましたが、「日程が合わなくて参加できなかった」「珍しい測定なので定期的に受けたい」のお声にお応えし、筑波大学大学院グローバル教育院 矢田 幸博教授監修による「健康チェック測定会」を5月よりスタートします。「健康チェックイベント」で大変好評でした、脳年齢測定(記憶力と処理能力の低下傾向を測定し情報処理能力や脳の元気度を総合判定)や血管年齢測定(血管壁の弾力性から動脈硬化、血管老化度の目安を知る)、体組成測定(筋肉・脂肪・骨・水分など、身体を構成する組成分のバランスを調べる)などを行います。

詳しくはお電話〔092-725-6623〕またはホームページ「チアーズスタイル」までお問い合わせ下さい。

測定日時　毎週火曜日～金曜日　12:00～17:00〔完全予約制〕(祝日の場合はお休みとなります)

所要時間　1測定あたり5～10分程度

測定費用　1測定あたり500円

場所　P&Cプランニング株式会社(福岡市中央区天神2-2-13-3F)

※使用する測定機器は、大学での研究で使われている機器ですので、常にご用意しておりません。必ずお電話でご確認、ご予約下さい。

Cheerstyle №13
2019年5月1日発行　発行元:P&Cプランニング株式会社
〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神2-2-13 サンベアービル3F ／電話092-725-6623　発行人:上田あい子

次号の発行は 2019年 7月1日 です。お楽しみに!

『カフェで学ぼうがんのこと』レポート

※今後の医療セミナーの予定はP.4をご覧ください。

第79回

2019年3月22日(金)

胃がん～注目される最新医療～

○講師：内藤 雅康先生（医療法人松風海 内藤病院 院長）

胃がんの原因、ピロリ菌

胃がんの原因で一番多いのはピロリ菌（ヘリコバクターピロリ菌）です。ピロリ菌が胃の中で感染を起こし慢性炎症を繰り返すうちに遺伝子が壊れ、その遺伝子が細胞分裂を繰り返しがんになることが多いです。そのほかの原因は塩分、アルコール、喫煙によるものと言われています。ピロリ菌に感染しているかどうかは検診で分かります。感染が確認されたら、除菌薬を1週間飲むとピロリ菌はだいたい無くなりますが除菌したからといって胃がんにならないわけではありません。毎年検診を受けて胃を検査したほうが良いです。

AIの登場と手術方法の進化

胃がんの進行は①T因子（胃の粘膜への広がり）②N因子（リンパ節への転移）③M因子（全身への転移）で表します。これら3つの因子によりステージ1～4（進行度合い）が決まり、治療方針が決まります。遠隔転移があると手術はできず、化学療法、放射線治療、免疫療法になります。

リンパ節転移もなく、ごく小さい胃がんであれば、胃カメラ内視鏡での手術が可能です。まだまだ発展途中ですが、これまで肉眼では見つけることが難しかった初期のがんをAIが発見できるようになりました。多施設で得たデータを一ヶ所に蓄積し、そのデータを半年に一度更新、そのデータを元にがん診断との整合性をとり、これにより内視鏡治療が可能な初期の胃がんが増えてくると思われます。あくまでも転移がないがんに限りますが、早期発見が可能になり体への負担が少ない治療ができるようになってきています。

また、以前は開腹手術が多かったのですが今は腹腔鏡手術が増え患者さんへの体の負担も減っています。近年では胃がんに対するロボット手術「ダヴィンチ」も保険適応になりました。鉗子を入れる小さな穴を数ヶ所開けるだけなので開腹手術と違い数ccと出血量が少なく傷口が小さいので、術後の回復も早いことが特徴です。

胃がんとオプジーボ

ノーベル賞で話題となった分子標的薬（オプジーボ）が2018年から胃がんに対する治療で保険適応可能となりました。保険適応には段階があり現段階では全ての胃がんに使えるわけではありませんが、投与した3割の方には効果のみられる薬です。しかし、これまでの薬とは異なり、副作用がいつ生じるか予測がつかないため注意が必要です。そして、副作用が出たときには副作用に対して適切な治療を受ける必要がありますので、オプジーボを使う場合は、医師や薬剤師、看護師などに副作用についてよく確認しておきましょう。これまでの胃がん治療は、抗がん剤の効果があまり認められず開腹手術が主でしたが、早期発見が可能になり、体への負担の少ない内視鏡手術が増えてきました。また、オプジーボのような免疫治療は使用にはまだまだ色々な条件がありますが、様々な治療を併用した複合型免疫療法を行う必要があると考えられます。

【参加者の感想】
- 胃がん治療がここ数年でとても進歩していることが分かりました。
- 内視鏡もAIの時代と聞き驚きました。今まで見つかりにくかった小さながんも早期発見でき、内視鏡での手術が増えるのはとても良いことだと思いました。

特集

梅雨時期の体調管理を考える

梅雨独特の体の不調

私たちの体は体重の60～70%が水分でできています。外気の湿度が高くなると、水を処理する機能が低下している人は体調が悪くなりますが、体調不良を訴えるのは体の機能が弱っている人だけではありません。梅雨は、どのような人でも体の中の水分を発散させにくくなり、免疫力が低下し梅雨独特の体の不調を訴える人が多くなります。具体的には、体がだるい（倦怠感）、食欲不振、下痢、むくみ、神経痛、リウマチ、喘息、皮膚病（アトピー、水虫）などです。梅雨に症状が悪化しやすい人は、日頃から胃腸の機能が弱く、冷え症であまり食べないけれども、水太りしやすい、汗をよくかく、また肝機能が悪く、いつも疲れやすい人のようです。

梅雨時期に増えるアレルギー症状

意外と知られていないのが、梅雨の時期のアトピー性皮膚炎の悪化・増加です。アトピー性皮膚炎は、慢性的にかゆみを伴う湿疹が顔、首、ひじ、ひざなどを中心にできることを指しますが、その原因は卵、牛乳・乳製品、カビ、ダニ、ハウスダスト、乾燥などです。また、最近の社会環境、住環境の整備により免疫力が低下し、これらのアレルギー性物質に過剰に免疫反応してしまうことも原因の一つと言われます。また、特に梅雨時期に悪化・増加するのはカビ、ダニ、ハウスダストといった住環境に起因するものです。

アレルギー対策

原因となるカビ、ダニ、ハウスダストはこまめに掃除機をかけ取り除く。そして、現在の住宅は機密性が高く、湿度が高い梅雨の時期はさらに原因物質が繁殖しやすいので、換気を徹底して行い原因物質の飛散、繁殖を防ぐことが大切です。

香りで自律神経を整える

うつ病や不眠など様々な不調は、自律神経、免疫系、ホルモン系のバランスが崩れたことで起こることが判ってきました。

これまでスキンケア、睡眠、香り、嗅覚、乳幼児、高齢者研究を長年に渡り研究している筑波大学大学院グローバル教育院 矢田 幸博教授は、「嗅覚は視覚や聴覚と違い感情・記憶を司る部分に直接伝わるため、脳自体に癒しを与え自律神経、免疫系、ホルモン系のバランスを整えることが最近の研究から判ってきた」と言われます。また、数ある香りの中から探索した結果、樟脳の香りが自律神経のひとつである副交感神経活動を優位にして心身を鎮静させること、さらには、大脳への作用として情動や気分を落ち着かせる効果があることを明らかにしています。

注目される樟脳の香り

これまでの研究から樟脳のように心身への鎮静効果がある香りは、その活用の可能性として以下のような心理的、生理的な数多くの効果が期待できます。

○高齢者のQOL改善
○不眠症状の改善
○ストレスの軽減・緩和
○更年期女性の愁訴緩和
○子供たちの集中力アップ
○介護、看護現場での活用

などのように老若男女に関わらず生活の中で広範な利用が考えられます。

【監修：矢田 幸博】
医学博士。花王株式会社栃木研究所所属、筑波大学大学院グローバル学術院教授兼務。専門は統合生理学（中枢機能～自律神経系機能～末梢機能）、皮膚生理学（皮膚関連細胞の機能解析、皮膚老化）、生化学（細胞内情報伝達系機構の解析、生体成分分析）など。

チアスタ キーワード
今注目の話題にフォーカス!!

油断できない「食中毒」 食中毒を防ぐ3つのポイント

食中毒とは、食事が原因で化器に異常を起こす病気です。食中毒といえば、梅雨などの高温多湿となる夏季にO-157やサルモネラ、カンピロバクター、黄色ブドウ球菌などの細菌性による食中毒が多く発生していました。ところが最近では冬季にもノロウイルスをはじめとしたウイルス性の食中毒の発生が増加しており、年中の食中毒対策が必要不可欠となってきました。

食中毒の原因は細菌性、ウイルス性、自然毒(植物性・動物性)、化学物質性、寄生虫など様々で、中でも大多数を占めるのが「細菌」と「ウイルス」です。

主な食中毒

○細菌性食中毒…カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など
○ウイルス性食中毒…ノロウイルス、ロタウイルスなど
○自然毒食中毒…フグ毒、毒キノコ、トリカブトなど
○化学性食中毒…洗剤、農薬、有機水銀などの化学物質

食中毒症状としては、下痢や嘔吐などがよく知られており、これらの症状によって脱水症状を起こします。変化に弱い高齢者や子どもでは重症化しやすく、特に注意が必要です。子どもはロタウイルスによる食中毒にも注意が必要です。

食中毒というと、飲食店での食事が原因と思われがちですが、毎日食べている家庭の食事でも発生しています。家庭での発生では症状が軽かったり、発症する人が少ないことから風邪や寝冷えなどと思われがちで、食中毒とは気づかず、重症化することもあります。

食中毒予防の3原則「付けない」「増やさない」「やっつける」

食中毒予防の3原則は、食中毒菌を「付けない」、「増やさない」、「やっつける」です。

①菌を付けない!

調理前や生肉、生魚、卵を触った後、トイレに行った後は、必ず石鹸で手をよく洗う、調理器具をきちんと洗う、生肉で使う調理具とそのほかのものに使う調理具を分けるなどの工夫で、食材に細菌やウイルスが付着することを防ぐことができます。おにぎりを作る時は、ラップなどを使うことも有効です。

②菌を増やさない!

水気が多いと菌が増えやすくなります。野菜や果物は水分をよく切る。温かいものと冷たいものを近くに詰めない。湯気が収まってから弁当箱のふたを閉める。細菌は暖かく湿度の高い場所で増えます。冷蔵や冷凍を利用して菌の増殖を防ぎましょう。食材、調理品とも常温で長時間放置しないように。

③菌をやっつける!

食品は中心部まで十分に加熱するようにしましょう。卵焼きやゆで卵は、半熟ではなく完全に火を通す。特に生焼けの肉には食中毒の原因となる菌がついていることがあるので、中までしっかりと火を通すようにしましょう。作り置きのおかずを入れる時は、しっかり再加熱することもポイントです。

これからの季節、遠足や運動会などの楽しみなイベントが増えます。お弁当を作る時には、上記のポイントに気を付けてください。お弁当は涼しい場所で保管し、早めに食べること。暑い時期や長い時間持ち歩く場合は、保冷剤を使うようにしましょう。

細菌やウイルスの消毒に効果抜群のアルコールですが、ノロウイルスに関しては、アルコールの消毒では効果がないことがわかっています。そのため、石鹸での手洗いがいちばんの予防法。手の甲、手のひら、指の間、爪の間、手首までをしっかりと洗う「正しい手洗い」を心がけ、手拭きタオルをこまめに替えるなどの工夫で食中毒を防ぎましょう。

食中毒が疑われる症状

普段から規則正しい生活を心がけ、食中毒の原因菌に対する抵抗力を備えた体を養うことが最も大切です。体調不良時は、生ものは避けるほうがよいでしょう。もしも食中毒が疑われるような症状(下痢、嘔吐、腹痛、発熱など)の場合は、まず脱水症状を防ぐために水分を補給し、早めに医療機関を受診しましょう。食中毒症状が改善されない場合、症状が激しい場合には、早急に病院へ行くようにしましょう。以下の場合は特に注意が必要です。

○水分の補給ができない場合
○一日に10回以上、嘔吐・下痢がある場合
○激しい下痢などの症状がある場合
○血便など血液が混じっている場合
○腹痛が続く場合
○呼吸が不安定、意識がもうろうとしている場合
○グッタリしている場合
○高熱がある場合

臨床試験に参加しませんか?

当センターでは、参加条件に当てはまる方を対象に
新規医薬品、ジェネリック医薬品開発のための臨床試験をご案内します。

募集対象

- 55〜79歳 健康食品モニター・もの忘れの自覚がある男女(関東)
- 65〜79歳 体重の軽い健康な高齢者男性(関東)
- 60〜75歳 認知症が気になる男女(福岡)
- 65〜87歳 風邪をひく頻度調査・男女(福岡)
- 30〜69歳 医療機器モニター・小柄・大柄な女性(福岡)

臨床試験には、通院型、宿泊型の試験があり、期間や回数は試験内容によって異なります。
臨床試験に参加頂くには、条件がございます。詳しくお知りになりたい方は、下記にお問い合わせいただくか、QRコードよりLINE登録してください。試験の情報を随時ご案内いたします。

LINE@

【臨床試験ご案内】
無料健康診断 予約受付中
※対象:関東・九州在住の方

ボランティアバンクへの
登録条件(一部抜粋)
※医薬品開発への理解があり、治験ボランティアにご協力を頂ける方のみ
・国籍:日本人の男女
・年齢:50歳〜80歳前後
・健康保険証をお持ちの方
※その他条件は要確認

お問い合わせ先
UNICS 臨床薬理センター 0120-927-637
電話受付時間/平日・土曜9:00〜17:00(日曜祝日除く)
健活モニター